

担い手法人による稲WCSの生産・販売

(長野県 (株) 田切農産)

経緯

- ◆ 地域住民258名が株主となり、担い手としての(株)田切農産、地域調整役としての営農組合と役割を分担。個人農業を地域で支える体制を平成17年に構築。
- ◆ 農家以外の町民を巻き込んだ地域活性化に向け、多様な担い手を増やす活動を実施。

<令和4年作業割合>

品目	割合
主食用米・酒米	27 %
そば	14 %
大豆	6 %
稲WCS	5 %
野菜	2 %
作業受託(稲WCS)	5 %
作業受託	41 %

飼料の生産・取引状況

- ◆ 田切農産が、播種～栽培管理～収穫～配送までを実施（受託分は収穫～配送まで）。
- ◆ 稲WCSを 800ロール（250～300kg/ロール）生産（令和4年度実績）
- ◆ 収穫を受託している稲WCS（7ha）は、買い取り。受託分は品質がばらついている。
- ◆ 畜産農家からの受注は、収穫中の9～10月に実施。
- ◆ 和牛繁殖肥育農家5戸、酪農家2戸に供給。

課題への対応など

- ◆ 9月5日から10月5日まで水稻の収穫作業のため、稲WCSの収穫は8月25日ごろからの10日間、10月5日ごろから10月20日までの15日間実施。
- ◆ ロール受注数に対し、1割増しで出荷することにより、クレームに対応。
- ◆ 田切農産への農地集積が進み、地区195haのうち、およそ100haを借り受け。

担い手法人と営農組合（二階建方式）

<二階>

株式会社田切農産（農業生産法人）
・農業生産活動の実施

経営機能

地区営農組合員の
全員出資

<一階>

田切の里営農組合（一般社団法人）
・地区農業の企画、農地利用調整

調整機能

地区内の全農家が参加

連携・補完

現場検討会



【令和5年8月10日現在】